



「富士山百景」茶園の茶娘

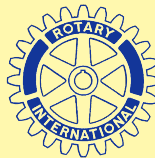
VOL. 2539

Rotary International

和のこころで...

第2539回例会 2016.5.18

ソング「我等の生業」



富士ロータリークラブ WEEKLY

<http://www2.wbs.ne.jp/~fujirc/>

例会日:毎週水曜日 12:30
 例会場:ホテルグランド富士
 TEL(0545)61-0360
 事務所:〒416-0913 富士市平垣本町8-1
 ホテルグランド富士内
 会長:太田 義隆
 副会長:小出 隆久
 幹事:植田 眞晴
 副幹事:岸本 泰次

会長挨拶

太田 義隆

本日は芹澤ガバナー補佐の期末訪問です。本年度もあと一ヶ月半を残し総括を行うにはちょっと早いのですが、主だった本クラブの事業内容を各委員長さんに発表してもらい芹澤ガバナー補佐より野口ガバナーに報告をしてもらいます。

会長としては、各委員長さんおよび会員皆様のご協力のもと、本年度24名から始まったクラブ員を何とか本年度中に30名にする目標が達成でき、また、職業奉仕、社会奉仕事業も例年通りの継続事業でしたが卒なく行うことができました。この場をお借りして会員皆様に御礼申し上げます。

あともう少し富士ロータリークラブのために頑張りたいと思います。

幹事報告

植田 眞晴

①例会変更のお知らせ

新富士RC 6月25日(土) 期末例会・親睦会(夜間)
 6月28日(火) 振替休会

富士宮RC 5月20日 変更 5月 14~15日親睦例会

富士宮西RC 6月24日(金) 移動例会

②ガバナー事務所よりお知らせ

- ・5月のロータリーレートは、1ドル=110円
- ・国際ロータリー第2620地区の米山記念奨学生学友会 会報Vol.6 が発行されました。ぜひご一読ください。
- ・ロータリー米山記念奨学会より 今月の”ハイライトよねやま”。全文は、こちらよりご覧ください。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/summary/pdf/highlight194.pdf>

⑥会報回覧

富士宮西クラブ 富士山吉原クラブ 沼津クラブ
 赤十字NEWS

※6月の例会予定表の中で間違いあり、6/29は通常例会で12:30点鐘です。

親睦委員会

佐藤 昌久

夫人誕生日 岩間 麗子 5.19

入会記念日 井出 清章 S63.5.18

望月 昭宏 H27.5.27

☆私のスマイル

井出清章君 今日は第三分区ガバナー補佐の前で期末委員会の報告をさせていただきます。光栄です。

川村統勇君 何となく。

磯西 昭君 さわやかな さつき晴になりました。

出席報告

佐藤 昌久

2539回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
30名	30名	6名	24名	80%

2537回 4/27確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
30名	30名	8名	22名	73%

[ビジター] 芹澤貞治様(沼津西RC)
 宮島賢次様(沼津西RC)
 海野達哉様(富士山吉原RC)



例会プログラム予告

6月1日 卓話 吉田浩之君

6月8日 クラブ協議会 事業実施状況報告

～ 期末委員会報告～

－ 事業実施状況報告 －

会員増強・維持委員会……………井出清章委員長

太田年度は、期首の25名から30名まで伸びます様私共委員会に厳命が下りました。その代わりに執行部も全面的に協力するとの約束も頂きました。

その約束の第一は、7月より毎月1回10月迄計4回の会員増強フォーラムの開催となりました。このフォーラムでは(1)職業分類表の未充足の分野をひろい、候補者を選び、同時に担当者も決め交渉する一覧表を作成しました。(2)若い会員を増やそうと企業のNo.2、No.3をねらいました。(3)女性会員(現1名→3名)(4)退会者の再入会等の話し合いを重ねました。この4回のフォーラムの最大の効果は会員減少の危機感が全員に浸透し全員が動く大きなきっかけとなった事です。約束の第二は、月4回の例会を1回は必ず夜間例会とした事です。特に若い多忙な会員にとって昼4回はきつい面もあります。1回は夜間例会にして時としてはアルコールも入り、会員相互の理解と親睦にもプラスとなりました。又家族、ゲストも大歓迎と致しました。こうして少しずつ改革を進めました。残念なことに女性会員の増強、退会者の再入会は実りませんでした。

新入会員は以下の皆さんです。

中富 央君・等 健次君・吉田浩之君・塩谷知一君・
佐野力哉君・榮賀 明君・今村雄一郎君・
滝 真砂人君→杉山昭弘(人事異動)

ロータリー財団・米山奨学会委員会……………佐野家弘委員長

当財団委員会ではロータリー財団、米山奨学会、ポリオ基金への寄付と地区補助金の申請を主な事業として行いました。

- (1)ロータリー財団への寄付金として年一人100ドルを寄付しました。
(合計金額 285,200円)
 - (2)米山奨学会への寄付金として年一人2,000円を寄付しました。(合計金額 52,000円)
 - (3)ポリオ基金寄付金として年一人30ドルを寄付しました。
(合計金額 73,600円)
- 尚、ロータリー財団、米山奨学会、ポリオ基金の3つの寄付金は理事会の承認を得て、年会費の中で対応しています。
- (4)ロータリー財団地区補助金プロジェクトとして「未熟児用紙オムツ寄贈事業」を申請し、許可されましたのでH28年2月10日に富士市立中央病院と県立こども病院へ昭新紙業(株)から発送しました。
 - (5)総事業費 283,565円に対し 地区補助金 140,600円の入金がありました。
 - (6)富士市立中央病院、県立こども病院より太田会長宛に感謝状が届いています。
 - (7)ロータリーカードの加入推進を行いました。

姉妹クラブ委員会……………佐藤昌久委員長

京都洛南RC 徳島プリンスRC の御招待で徳島阿波踊りに行き貴重な体験をしました。加えて東京向島RCとの交流も出来ました。



社会奉仕委員会……………植田眞晴委員長

交通安全運動の街頭広報を春、秋、年末に行いました。年末に地区補助金を使い富士中央病院、県立こども病院に未熟児用紙おむつの寄贈を行いました。岩本山「ロータリーの森」「慈愛の丘」の施肥作業を行いました。次年度は地区補助金を利用したの桜、蝦梅の植樹を考えています。



総 評 ………………芹澤貞治ガバナー補佐

会員増強では7名の増強が出来たのは、会員のモチベーションを上げることに苦勞された事によると考えます。これは他のクラブの参考になるでしょう。

財団、米山寄付は年々ハードルが高くなっていますので会員が増強したら地区目標を考えた方がいいでしょう。姉妹クラブではガバナー表彰を頂いたことは大変喜ばしい事でした。社会奉仕で未熟児用紙おむつの寄贈は紙の街ならではの活動であり長く続けて頂きたいと思えます。

ガバナー補佐期末訪問によせて 芹澤貞治様

2015-16年度も残り少なくなりました。会長・幹事を始め、会員の皆様には、地区・分区に協力下さりありがとうございました。お陰様で、静岡第3分区内多数のクラブが、地区目標をクリアしようとしておりますことは、会長・幹事の強い指導力、そしてなによりも会員全員の高い目標と、努力の賜物の結果と思えます。



現在、日本のロータリーでは、数多くの悩みを抱えているクラブが多数あり、多くのクラブの指導者も悩んでおります。その答えが、先の地区大会、第一日目での講演にあると思ひ、紹介したいと思います。講師は、2013-15年度R・I研修リーダー・小船井修一氏の内容です。

その時代、当然と思われていた価値観などが劇的に変化することを、パラダイム・シフトと言います。最も典型的なものが、「天動説」から「地動説」に転換した事であり、近代においては、産業革命が最大のパラダイム・シフトであります。

さて、つい15年位前までは、通勤電車の風景といえば、男性は新聞、女性は文庫本や週刊誌、若者はウォークマンでした。今ではほとんどの人が、スマートフォンに変わってきました。スマートフォンは、パソコンと同じ機能を持つまでになりました。

日本の人口は減少を続け、今後50年間で、8674万人になる予測です。企業数も1996年をピークに減少を続けています。商工会の会員も減少に転じ、そして、日本のロータリーの会員数も1996年11月より企業数に合わせ減少に転じ、近年は減少に歯止めは掛かりましたが、増加する勢いはありません。多くの商店が廃業に追い込まれ、シャッター街はロータリアンを失った墓碑のように感じます。

日本のロータリアンの人口密度は、全国的に1000人当たり7.5人程度です。大都会ほどその人口密度は少なく、人口減少地域は企業も減少し、ロータリーを維持するのも困難な状況が顕著です。

1921年、アーサー・F・シェルдонは、国際大会で「最も良く奉仕をした者が、最も良く利益を得、最も良く生き残れる」と語りました。

ダーウィンは『種の起源』の中で、「生き残ることのできる生物の種族は、最も優れた能力を持った種族ではなく、環境の変化に対応できる種族である」と書いています。……

※途中で紙面の都合上省略させていただきます。

編集者 宮下正雄